

## 2023年度

科目名称	幼稚園教育実習指導
授業コード	BM30A
英語名称	Guidance for Teaching Practice (Kindergarten)
学期	2023年度前期
単位	1.0
担当教員	今西 ひとみ (教育人間科学部), 奥平 かおり (教育人間科学部), 安部 久美 (教育人間科学部), 小林 咲里亜 (共通・教職資格系科目・卒業生発行区分), 日色 智絵 (教育人間科学部), 栗山 由加 (教育人間科学部), 渡部 晃子 (教育人間科学部), 角田 幹子 (教育人間科学部), 金子 喜久枝 (教育人間科学部), 高橋 由佳 (教育人間科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者・教育者としての必要な資質や能力を教授するとともに、実践力が身につけられるように指導する。</li> <li>・幼稚園教育実習の目的や意義を学び、実習生に必要な学習態度や資質を身につける。</li> <li>・保育所実習等の振り返りをもとに、今後の自己課題を明らかにし、改善を図る。</li> <li>・上記を通して、幼児保育学科のディプロマポリシーに掲げる保育者としての実践的な活動を支える専門的知識や技能を獲得する。</li> </ul>
科目に関連する実務経験と授業への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園勤務経験者、中学校勤務経験者、海外現地ナーサリー勤務経験者等の実務家教員が幼児理解、環境の構成等について教授するとともに、実習日誌の書き方、指導案の立て方等を指導する。</li> <li>・模擬保育において、幼稚園、学校現場経験者である担当教員が、保育者の言葉のかけ方、環境の構成や援助の在り方等を指導する。</li> </ul>
到達目標	<p>【科目特有の知識・技能についての到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児を取り巻く社会の変化をとらえ、新たな課題に創造的に取り組むことができる意欲と広い視野を備えた総合的・学際的な知識や学びを習得する。</li> <li>・幼稚園、幼保連携型認定こども園等の社会的役割を理解する。</li> </ul> <p>【汎用能力としての学士力についての到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見をもって、他者とのコミュニケーションをとる能力を身につける。</li> <li>・幼稚園教諭に求められる資質・能力を知り、実習生として必要な態度や能力を身につける。</li> <li>・模擬保育を通して、実習生として基本的に必要な実践力を身につける。</li> </ul> <p>【態度・志向性についての到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職としての教育者・保育者の使命感・倫理観・規範意識を身に付け、子ども・保護者・地域から信頼を得られる実践力を身につける。</li> </ul>
計画・内容	<p>第1回 オリエンテーション 幼稚園教育実習の目的と内容 教育実習の到達目標と評価 教育実習実施までの流れ、実習までに身につけておくべきこと (今西・安部・渡部・小林)</p> <p>第2回 幼稚園、幼保連携型認定こども園についての理解 多様な教育理念、方針、幼稚園の一日の流れ (今西・安部・渡部・小林)</p> <p>第3回 環境構成についての理解 (今西・安部・渡部・小林)</p> <p>第4回 実習日誌の書き方 幼児の言動の理解、保育者の援助の意図の理解 (今西・安部・渡部・小林)</p> <p>第5回 実習日誌の書き方 実習に向けた計画と課題、目標の書き方等 (今西・安部・渡部・小林)</p>

2023年度

<p>計画・内容</p>	<p>第6回 指導案の書き方 各年齢、環境に応じた目標および指導内容の具体的記述 (今西・安部・渡部・小林)</p> <p>第7回 指導案の書き方 目標と指導内容の整合性から見た記述の仕方 (今西・安部・渡部・小林)</p> <p>第8回 模擬保育 (今西・安部・渡部・小林)</p> <p>第9回 模擬保育 (今西・安部・渡部・小林)</p> <p>第10回 模擬保育 (今西・安部・渡部・小林)</p> <p>第11回 模擬保育 (今西・安部・渡部・小林)</p> <p>第12回 実習の心構え - 学部講師による講話 模擬保育 (今西・安部・渡部・小林)</p> <p>第13回 実習直前指導 模擬保育 (今西・安部・渡部・小林)</p> <p>第14回 事後指導 実習における自己課題と改善のための取組</p> <p>第15回 事後指導 (上記続き)</p> <p>模擬保育( から の間)複数回にわたり外部講師の講話の予定</p>
<p>授業の進め方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には講義形式で行うが、後半の実習日誌、指導案の書き方、模擬保育は演習を行う。各模擬保育の回は、その前に実習前重要連絡と手続きを実施する。</li> <li>・模擬保育( ~ )においては、順番を決め複数名で学期中に必ず教員役を経験し、残りの学生は子ども役を行うことで、可能な限り実践現場に即応できる能力を養う。</li> </ul> <p>今年度は、上記の予定よりも早く、模擬授業を開始する可能性もある</p>
<p>能動的な学びの実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習日誌、指導案などを実際に書きながら、質疑応答を行い、記録することの意味、計画、実践、評価することの重要性を学べるようにする。</li> <li>・学生全員が予習、復習を含めながら模擬保育を行えるようにする。</li> </ul>
<p>授業時間外の学修</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間外学習(合計60時間程度)</li> <li>・各回ごとに指示された予習、復習を行う。</li> <li>・実習の目標、教材研究、教材準備、指導案作成、模擬保育の振り返り等を課題として課す。</li> </ul>
<p>教科書・参考書</p>	<p>実習の手引き 実習日誌(教育実習用) 他は、各回ごとに担当教員が必異に応じて配布する。</p>
<p>成績評価方法と基準</p>	<p>成績評価方法と基準 模擬保育と指導案等(60%) 提出物等(40%)</p>
<p>課題等に対するフィードバック</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の目標、指導案等については一定基準を満たすまで、教員から指導を受ける</li> </ul>
<p>オフィスアワー</p>	<p>CampusSquareを参照</p>
<p>留意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無断遅刻、無断欠席したものは、実習を不可とする。</li> </ul>

## 2023年度

非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	・ Zoom によるオンライン授業、CampusSquareによる課題学修 ・ 成績評価方法と基準 模擬保育と指導案等（60%） 提出物等（40%）
------------------------------------	---